

## 令和元年度(2019年度)第5回三者懇談会(吹田市立西山田保育園)

- 1 開催日時 令和元年10月19日(土) 午後7時5分～午後8時45分
- 2 開催場所 西山田保育園 2歳児保育室
- 3 出席者 西山田保育園保護者会長、その他保護者23名  
社会福祉法人耕心会(耕心会理事長、耕心会副理事長、耕心会事務長、吹田くすのきこども園主事、藤白台保育園主事、その他合同保育担当職員3名)  
吹田市児童部保育幼稚園室(保育幼稚園室長、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹2名、保育幼稚園室主任2名、保育幼稚園室係員、西山田保育園長、西山田保育園長代理、西山田保育園看護師、西山田保育園保育士3名)
- 4 議題
  - 1 合同保育について
  - 2 耕心会からの提案について
  - 3 質疑応答
- 5 議事要旨

### 1 開会

吹田市： ただいまから第5回三者懇談会を開会いたします。はじめに資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

### 2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆さまを御紹介させていただきます。

(出席者紹介)

### 3 合同保育について

吹田市： 4月から合同保育が始まり、耕心会の職員の方々にお越しいただき、引継ぎを行っております。園長から合同保育の状況について御報告させていただきます。

吹田市： (西山田保育園長) 合同保育の引継ぎ状況を御報告させていただきます。保育

指導計画、行事計画などを耕心会の合同保育職員の方にお渡しして、毎月確認しております。カリキュラム会議、発達支援会議、行事の担当会議などに参加していただき、ねらいや取組み、子供たちの姿、配慮することなどを一緒に共有して進めているところです。また、クラスの保育に入り運動会の取組みなどの経過とともに、担任と道具の準備や、取り組む子供たちの頑張りを励まし喜びあってきました。大切にしていることを伝え、わからないことは担任に聞いてもらうようにしました。一緒に過ごす中で、先生方の名前を子供たちが覚え、先生方も子供たちの名前を覚え、信頼関係がついてきているところです。当番保育に入らる中で、保護者の方との顔合わせも少しずつですが、できているのではないかと思います。2期のクラス懇談会にも出席してもらう予定で、先日2歳児クラスの懇談会にも参加してもらいました。ほかにも園庭整備や倉庫の片づけなどを積極的に手伝っていただき、とても助かっているところです。6月以降の行事もたくさん引き継いでまいりました。園長業務、看護師業務、給食業務も適宜引き継いでいるところです。

吹田市： 本日は、現在西山田保育園で合同保育を行っている耕心会の職員の方々にも御参加いただいておりますので、実際に合同保育を行って感じられたことや今後の課題などがあればお話しいただきたいと思います。

耕心会： （馬込副理事長）耕心会では副理事長を務めております。運動会に参加させていただいたりして、合同保育を行っております。私のことをお話させていただきます。現在は湊川短期大学で教員をやっております。非常勤先の他の大学では、家庭支援や社会的養護などを教えたりしておりました。また、三田市で行っている子育てのNPO法人で副理事長もさせてもらっていて、お父さんたちの支援を行うイクメン講座を7年半しております。そのNPO法人で11月17日（日）に三田市で子育てメッセという子育てイベントを開催します。保育ネットワーク・ミルクというNPO法人でございまして、インターネットなどで検索していただきますとホームページが出てきます。子育てメッセのイベントでは、私とNPO法人の理事長と2人で子育て応援というテーマで1時間30分程度話をします。私のことをもっと知りたいという方がいらっしゃいましたら、このイベントに御足労いただければありがたいと思います。

私には『志は高く、敷居は低く』というモットーがございますので、園長に就

任した折には保護者の皆さんにどんどんお話をさせていただきたいです。また、園長これどうなっていますかなど、相談したいことなどがあれば、お声かけいただけたら嬉しいなと思いますのでよろしくお願いします。

合同保育に入って、西山田保育園の先生方はものすごく熱心に動いていらっしゃる、すごくパワフルな熱量を感じました。それから、西山田保育園の先生方の支えもあって、耕心会の3人の合同保育職員も一生懸命にやっており、お互いに良い関係を築きながら合同保育が進んでいるなと感じております。運動会に参加した時に園児が時々、耕心会の合同保育職員のところに来て、お話をしてくれたりしていたので、園児もしっかり受け入れてくれているなと感じました。また、特に運動会で保護者の皆さんがすごく協力的で、園と保護者の皆さんの信頼関係で成り立っているなと思いました。合同保育に入らせてもらって、保護者との信頼関係をいかに続けていけるかということをしっかりと考えないといけないと感じました。

また、運動会で地域の方との関係について気がついたことがあります。近隣に団地があり、音楽を流したり、声を出したりして、団地の方からいろいろなことを言われるのではないかなと思っていました。しかし、そのようなこともなく地域の方と信頼関係を作っているのも、しっかり引き継いで頑張らないといけないなと思いました。

私は、保育所はみんなで作り上げていくものだと思っています。園児、私たち、保護者、地域、行政など誰かが力を抜いた瞬間に崩れていくものだと思っていますので、みんなで力を合わせてやっていきたいと改めて思いました。

耕心会：（神村保育士）6月以降、夏から秋にかけていろいろな行事に参加させていただいたので、そこで大事にしているのだろうなと思うところと、引き継いでいきたいなと思うところを含めてお話をさせていただきたいと思います。

まず、7月にお泊り保育がありました。今まで自分が経験してきたお泊り保育と違うなと思ったのが、園全体で参加しているということがすごく大きいなと感じました。職員はもちろんですけど、0歳児から4歳児までの園児も何らかの形で参加していて、5歳児を盛り上げていました。4歳児は憧れの気持ちを持って参加していて、そこは大事にしていきたいなと思っています。8月には保護者会と共催で行っている夏祭りがあり、どんな感じでやっているのかなと思って、準備から片付け、反省会まで参加させてもらいました。いろいろな課題を来年度

で考えていこうという提案をされていたので、そこは一緒に考えて、よりよい夏祭りが実行できればと思っています。最近では運動会がありました。乳児クラスは運動会だから何かをさせるというのではなく、いかに日々の遊びをそのまま活かすにできるかなということを大事にしているなと思いました。リハーサルの時はすごく泣いていた園児も当日にはたくさんの人の中で、普段の姿を見せることができていました。先生方がそれだけ心のフォローをしっかりとされていたと感じました。幼児クラスは挑戦するということで課題に取り組んで、何かをクリアするだけではなくて、そこでの仲間づくりというのが見えて、友達を応援すること、教え合うことなどを一緒に頑張るみたいなのところがすごく出ていました。それは西山田保育園の先生方が言葉かけをするなどして、園児たちに伝えていたなと感じました。特に5歳児クラスはリレーをすごくポイントに置いていると聞いていて、それがどう繋がっていくのかなと思っていました。運動会後に5歳児クラスに入らせていただき、グループで友達と話し合いをしている時に、先生が介入するのではなくて、自分たちであーでもない、こーでもないという姿が見られました。他の場面でもそういったことが見られて、年度初めの頃の友達と相談して決めていくという姿と、運動会が終わって今の姿を比べると園児の発言する言葉も違っていたので、こういうことがリレーだけではなくて、繋がってきていると感じました。

日々の保育では、夏までに全クラスに入らせていただいて、クラスが変わっても、「今日はこういう取り組みをするから見に来て」、「0歳児で寝返りが打てるようになったから見に来て」、「3歳児のごっこはこういう形で4歳児はこうなっていく」と西山田保育園の先生が誘ってきてくれて、各クラスでの成長を見る機会をいただいております。それはすごく勉強になるし、やっていけないことだと改めて思っています。今までは公立保育所ではどのような保育をしているのか、何を大事にしているのかということを見てきましたが、後半に入り来年4月に向けて、まだやっていない行事も見えていながら、西山田保育園の園児たちがどう成長していったらほしいのかという思いを今の担任の先生たちと話していきたいです。そして、来年度に繋げていきたいと思っています。3月までは公立で4月からは私立になるという事実はありますが、園児にとっては3月31日から4月1日になっても、進級するだけであって、今まで積み重ねてきた日々を途切れないように努力していきたいなと思っています。

耕心会：（櫻井保育士）前回の三者懇談会から全クラスに入らせていただきました。園児たちは人懐っこくて、最初は泣く子がいるのかなって思っていたのですが、園児たちから来てくれるので、保育をされていてすごくかわいいなというのが第一印象です。

行事一つひとつに関しては、会議などで西山田保育園の先生方は細かい配慮やねらいをしっかりと話されます。ねらいと違う姿になったとしても臨機応変に対応されて、職員間の連携もうまいことされているので、西山田保育園の先生のごいところだなと感じました。保育以外でも園庭の木や、砂を掘りすぎて石が出てくるなどの危険なところ、プールの時の注意点、倉庫の整理など保育園全体のことをいろいろ教えていただきました。「これはどういうことですか」、「これはどういうねらいがありますか」ということも各担任の先生などに聞いて、丁寧に答えてくださっているので、これからも続けていきたいなと思っています。

保育の中で印象に残っているのは、ごっこ遊びです。発表会や運動会などの行事に向けてごっこ遊びを取組むのではなくて、普段の生活の中で導入されているなと思っています。今3歳児クラスに入っていて、散歩に行った先で、どんぐりが落ちていて、これはクモの食べ物やとか、木の枝があればこれはクモの爪やとか、いろいろとイメージを膨らませて子供たちは遊んでいます。担任がクモになりきる時には、子供たちの中では先生ではなくてクモというように見えています。そこの持っていき方がうまく、ごっこ遊びの面白さだと思いますので、しっかり聞いています。

保育士同士の関わりは、私から質問してみたり、先生方からもいろいろなことを教えていただいたりして、日々過ごしています。今後の課題としてはそういった関り方をもっと密にして、どのようなクラスにしていきたいかというのを細かく理解して、来年度に生かしていきたいなと思っています。保護者の皆さんの理解が得られるように頑張っていきますので、よろしくお願いします。

耕心会：（小坂保育士）6月以降、全クラスに入らせていただきました。それぞれのクラスの中で発達は違いますし、様子も今の4歳の姿と今の3歳の姿が明確になっています。西山田保育園の先生たちにここは今どうされていますかと質問すると事細かに教えてくださいますので、私たちもイメージしやすく、学びやすいです。同じ保育施設でも私たちがやったことのない保育があるので、その部分で考えていることやねらいを先生方に細かく教えていただけました。3月までそうい

った機会が増えていくと思いますので、一緒に深めていければなと思っています。

西山田保育園の先生方は、園児一人ひとりをすごく丁寧に見ていて、カリキュラム会議で、「この子はこれができるようになった」、「ここまで今がんばっている」などを全職員で共有されていらっしゃるの、どの先生がフォローに入られた時でも、同じような対応をしているなと感じました。0歳児であっても何もできないというわけではなくて、声をかけられたらわかるし、表情でも子供たちは掴んでいるので、その点はすごく先生方の連携が重要だなと思っています。4月以降に耕心会の職員は増えるので、私たちも先生方の連携を引き継いでいかなければいけないし、全職員で共有していかなければいけないなと思っています。

行事を見させていただいて、夏祭りや運動会など保護者の方との協力が大きい部分だと感じました。また、先日2歳児クラスの懇談会に入らせていただいて、少しお話をさせてもらいました。運動会だけではなくて、春からやっていることが運動会に繋がっているなとすごく感じました。4月にはできなかったことが今の時期になってすごく自信を持ってできていて、体幹もしっかりしてきているので、リズムをやっている意味であったり、普段の保育の動きであったり、さまざまな場面で培われているのかなと感じています。

運動会について印象に残ったことがあります。1歳児クラスに入って、散歩に行った時に猫じゃらしを使って追いかけて遊ぶ姿がありました。どうやって運動会に結びつくのかわからなかったのですが、練習や当日の様子を見て、退場のシーンで子供たちが猫じゃらしを持って先生を追いかけて退場していました。運動会でただ退場するのはなくて、園児たちが日々の中で自然にやっていることが流れとしてできていたので、すごく印象に残りました。私も初めて見る入退場であったので、その点も引き継いでいきたいなと思っています。

2歳児クラスの懇談会の様子を見させていただいて気付いたのですが、フリートークの時間があって、保護者の方々の中で悩みや相談したいことなどを共有されていました。お仕事をした後にお迎えに来て、家庭のこともあってとなるとそういう時間を保護者の方でとるのは難しいと思いますので、クラス懇談会でフリートークの時間があることはすごくいい時間だったのかなと思っています。私も驚いた部分がありましたし、保護者の方からもいろいろなアドバイスの声が飛び交っていたので、すごく楽しい場になって、その雰囲気は壊したくないなと思いました。

園児たちとの関わりがすごく増えている、昨日4・5歳児クラスで絵本の読み聞かせをさせていただき、子供たちはすごく集中して聞いてくれました。その後5歳児クラスではどこが楽しかったのかななどを積極的に話していたので、ただ読むだけではなくて、そこから考えるということが大事なのかなと思って見させていたでいていました。

今後、芋ほりや遠足に行かせていただき、その様子を見て行きます。また、餅つきや絵画展など私は保育所でやったことがないのですが、私自身楽しみです、そこでも子供たちの姿をしっかりと見ていきたいと思います。その中で、西山田保育園の先生たちとたくさん話をして、園児たちが今出来ていることが来年に出来なくなっているということがないように、常に前を見て進んでいけるように、あと半年間引き継いでいきたいと思いますので、今後よろしくお願いいたします。

吹田市： ありがとうございます。続きまして、西山田保育園の保育士からも実際に合同保育を行って感じたことなどをお伝えいたします。

吹田市： （保育士）私は2歳児クラスの担任をしています。2歳児クラスに入ってもらった時にはいろいろな質問していただきましたが、私は4月に西山田保育園に異動してきたため、西山田保育園のこととしてしっかり答えられているのかなという不安がありました。しかし、吹田の公立保育所として共通する部分を中心に伝え、他の園でも同じように行っていることをしっかり聞いていただけたかなと思っています。夏に2歳児クラスに入っていた際には、2歳児は砂場の前でシートプールを作って水遊びしており、合同保育の先生にシートプールと一緒に作ってもらったり、その上に日陰をつくるネット張ったりをしていただきました。季節ごとに園でしていることも一緒に引き継ぎできたかなと思います。

最近では合同保育の先生と、2歳児クラスの部屋と一緒に保育をする機会がなかったのですが、合同保育の先生が園庭や当番保育の時に2歳児クラスの子を見ると声をかけてもらっています。クラスに入っていないくても一緒に子供たちの様子を共有してもらっているので安心だなと思います。

先日、小坂先生には2歳児クラスの懇談会に参加してもらって、保護者の皆さんと私たちがどんな雰囲気で行っているのかを感じてもらえたので、すごくよかったかなと思います。

吹田市：（保育士）私は1歳児クラスの担任をしています。4月に合同保育の先生に1歳児クラスに入らせていただきました。1歳児クラスは新入園児が多くいますが、一人ひとりの気持ちを受け止めてもらいながら、子供たちに丁寧に対応していただいたと思います。保育に入らせていただく度に、「こんなにしゃべれるようになっただね」、「こんなに自分でできるようになっただね」などと声をかけてもらって、一緒に子供たちの成長を共感してもらえたかなと思います。クラスに入ることに関係もたくさんついてきて、先生が入っていない時にも、先生の姿が見えると子供たちから声をかける姿があったので、すごく関係をとっていただいているなと感じています。運動会の取組みについては、1歳児クラスではグリーンマットの山登りや斜面登りなどの日々の遊びの中で行っています。そういった設定も一緒に手伝ってもらいながら組み方を確認することができたかなと思います。運動会に向けてはそういう山登りをなぜするのかってということや足の裏をしっかりと使って登ること、高月齢と低月齢の取組みの違いとかも一緒に確認させていただけたかなと思います。

吹田市： ありがとうございます。耕心会と西山田保育園では、2園会議を開催しながら様々な協議を行っているところです。現在の引継ぎ状況について西山田保育園長からお伝えいたします。

吹田市：（西山田保育園長）2園会議では毎月、合同保育の計画や振り返りをしながら進めています。また、引継ぎポイントやどのクラスに入るのかなどの項目を毎月決めて確認しています。担任と耕心会の職員とで保育のことや子供たちのことをゆっくり話す時間を設けています。今後も、西山田保育園で大切にしている保育のことなどを耕心会の職員に引き継いでいく予定です。

#### 4 耕心会からの提案について

吹田市： 耕心会から御提案がございます。

耕心会： 御提案の件につきまして御説明をさせていただきます。まず1つ目は、持ち物の件で御提案がございます。0歳児から2歳児までの園児にお尻敷きのタオルを

使わせていただけないかという御提案でございます。

主に0・1・2歳児の園児のパンツやおむつを履き替える時に、現在、マットの上に座って履き替えています。マットに直に座るのではなくて1枚タオルを敷いて着替えをすることで衛生的にもよく、感染症予防にも繋がるのではないかと思います。おおよそ2歳児までの座って履く園児に使用したいなと思っています。お尻敷きは各家庭から毎日持ち帰りいただく形になります。また、園ではお尻敷きを入れる容器を用意してそこに毎日入れてもらって持ち帰っていただきます。

慣れてくると子供たちが自分でお尻敷き敷きを取りに行き敷くようになります。このような形で使用を検討しておりますのでよろしくお願いいたします。

2つ目が紙おむつの対応についてです。来年の4月以降は使用済みの紙おむつを園で処分させていただければと思っています。大きな理由としては、4月以降、毎日ごみの回収業者がこられるので廃棄が可能になるためです。しかし、感染の時期に小児科医が便の様子を見せてほしいですとか、おしっこをちゃんとしていますかとか御質問をいただきますので、そういったことについては、きちんと対応させていただきます。藤白台保育園でも紙おむつを処分させてもらっていて、おしっこの回数を知りたい保護者もいらっしゃるので正の字で記載してお知らせしております。西山田保育園でも同じようにできればと思っています。

3つ目が給食費の御提案になります。10月から保育料が無償化になり、副食費は園が直接徴収をするという形になりました。現在西山田保育園では主食費が800円、副食費が4,500円の合計5,300円の徴収になっていますが、来年度は副食費を4,700円で御提案をさせていただきたいと思います。これにつきましては現在と同じメニュー、同じ栄養価、旬の食材を使用する形で、現在利用されている仕入れ業者さんに仕入れの試算をさせていただきました。その結果、副食費については4,700円となりましたので、実費徴収という観点から、月額5,500円で徴収させていただきたいという御提案でございます。請求につきましては、毎月末に当月分を引き落としして、各御家庭に請求書をお渡しするという事で検討させていただきたいと思います。

4つ目が家庭訪問についてです。現在、西山田保育園では新入園児を対象に行っていますが、希望制（選択制）でさせていただきたいと思っています。何点か理由がございまして、家庭訪問は4月下旬にされているということですので、移管してからすぐに家庭訪問となると、園長や職員が園を空けてしまうというこ

とになりますので、それを少しでも抑えることができればなということがあります。その他に家庭訪問をされる理由として御家庭の様子を確認することや、御家庭の場所を把握する意図があるということをお聞きしています。それについては新入園児に児童票を提出いただく時に地図を書き添えていただきますので、職員が確認してどのあたりに住んでおられるかを把握させていただきたいと思います。あと、平日に在宅していただくということにもなりますので、そういう負担を減らすということで御提案させていただきたいと思います。藤白台保育園でも御提案させていただいており、初年度は家庭訪問を御希望される方はいらっしゃらなかったため合わせて御報告させていただきます。

5つ目が行事の写真撮影についてです。運動会と発表会にはプロのカメラマンを入れさせていただきたいと思います。費用負担は園で行います。耕心会でも吹田くすのきこども園、藤白台保育園の運動会はプロのカメラマンに依頼しています。西山田保育園では、これまで保護者会の方でお知り合いのOBのカメラマンがいらっしゃったということはお聞きしていますので、もし御紹介いただけたら御依頼をしたいと思っております。

6つ目が卒園児の記念品についてです。現在、吹田くすのきこども園の卒園児には、卒園記念品を持ち帰っていただいています。そのうちのひとつである木製のパズルを西山田保育園の5歳児クラスの子供たちが作り、卒園記念として持ち帰るということを御提案させていただきます。耕心会では、木育という活動をずっと行っていき、木を身近に感じ、木を通して心を育むといった、木材を取り入れた活動を行っています。子供たちが自分で絵を書いて、それを電動のこぎりで切り、紙やすりで削ってパズルにして卒園記念として持ち帰っています。西山田保育園で引き続きさせていただければ、卒園の記念として持ち帰ることができるので御提案をさせていただければと思います。他にも、お箸を親子で作るといった木育活動も行っており、作ったお箸を持ち帰り、使っていただいております。

7つ目が運動会、発表会の日程についてです。現在運動会と発表会を土曜日と平日で年度ごとに交互で開催されていますが、こちらを毎回土曜日に開催できないかと考えております。理由としては、運動会、発表会は園にとっても大きな行事だと考えており、できるだけたくさんの保護者の方に御覧にいただきたいと考えております。また移管園ということもありますので、卒園児や園に関わっている方などで御覧になりたいという御希望があれば、それに沿いたいと思いますので、比較のお休みの取りやすい土曜日だと思っております。しかし、もちろん平

日しかお休みをとれない保護者の方もいらっしゃるかと思います。さらにここ数年猛暑が続き、9月下旬や10月初旬での運動会の開催が厳しいという声もあり、日程調整もされているという話もお聞きしていますので、そこも含めて教育委員会や近隣の園などと開催の日程を調整させていただき、基本的には土曜日の開催を進めて行きたいと思っております。

8つ目がゆうちょ銀行の口座準備についてです。現在、給食費や延長保育料、おそらく写真代などをいただいていると思いますが、できる限り現金でのやりとりを少なくしたいと思っております。そのため、口座振替を御提案いたします。ゆうちょ銀行にした理由は、他の金融機関よりも振替手数料が一番安かったためです。振替に係る手数料については園で負担をいたしますので、保護者の皆さんにはゆうちょ銀行の口座を作ってください、その情報を園にお伝えいただくという形になりますので、既にゆうちょ銀行の口座をお持ちの方はその口座を使わせていただきます。お持ちでない方には新しく口座を作ってくださいという負担が増えますがよろしく願いいたします。

※三者懇談会での質疑応答を受けて、耕心会から改めて保護者会宛てに『新年度のご提案について』を提出しました。

## 5 質疑応答

吹田市： 事前にいただいた保護者の皆様からの御質問等に回答いたします。

(耕心会から回答)

(吹田市から回答)

吹田市： 岸部保育園に関して情報提供させていただきます。8月6日に保育所民営化についてのお知らせ(民営化ニュース)を掲示し、また、8月23日には西山田保育園保護者向けにお知らせ文を配布させていただきましたとおり、来年度民営化予定であった岸部保育園は民営化移管先事業者との協定を解除しております。

公立保育園民営化実施計画に基づき、3か年で5園民営化するとして、来年度、令和2年4月に岸部保育園と西山田保育園を民営化する予定で進んでおりました。しかし、8月1日に岸部保育園につきましては、私どもが考えている対応を事業者がちゃんとしていただけなかったために、事業者との協定を解除しまし

たので、来年度の民営化はなくなりました。しかしながら、民営化の計画自体がなくなったわけではないので、また改めて民営化の事業者選定を進めていくということになり、民営化する時期は延期となりました。

岸部保育園の保護者の皆さんには8月3日、23日、28日と3回説明会をさせていただき、いろいろな御意見をいただきました。合同保育を3か月している真っ只中でこういったことが起こってしまったことについては、私どもとしても予想外のことでしたが、園児、保護者の方々に大変負担をかけたと思っています。これから丁寧にお話をして進めていかないといけないと思っています。保護者の方は4月に向けて、民営化されるから、私立になるからと、様々なことを思いながら進んできておられたところですが、こういったことになってしまったことについては、大変申し訳なく思っています。先ほども申し上げましたが、これから再度事業者選定などが進むこととなりますが、岸部保育園の園児、保護者の方々にはさらに丁寧に対応していきたいと思っています。説明会の詳細はホームページに掲載された3回の説明会の議事概要を載せておりますので、ご覧いただければと思います。他園のことなのでこれ以上細かくお話しはできませんが、御理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。

吹田市： では、先ほど御報告した内容も含め、保護者の方から御意見・御質問があれば、御発言いただきたいと思えます。

保護者： 基本的に耕心会から御提案していただいたことを保護者の方でも協力していきたいと思っています。

先ほど御提案されたお尻敷きタオルを使用することにより、感染症予防ができるのかは疑問です。おむつ・パンツの着脱時に布製の30センチ四方のタオルを使用して、その後、牛乳パック等の箱に入れて、同じ場所で保管することが逆に感染症を広げてしまうのではないかと個人的には思います。このような対応は他の園でも実施していて有効だから取り入れているのかを詳しく教えていただけたらと思います。

耕心会： 現在、西山田保育園ではマットの上に何も敷いておらず、おむつ・パンツの着脱の後に消毒で対応しています。今後は個人専用のタオルをマットの上に置くことで感染症予防になるのではないかと考えております。

保護者： 恐らくノロウイルス、ロタウイルスの感染のことを心配されているのかなと思います。持参するのは構いませんが、できれば布製のタオルではなく、つるつるした素材のものでお願いしたいです。それと毎回使用した後に次亜塩素酸ナトリウムなどをしみ込ませた布でふいた後にまとめておかないと、タオルを同じ場所で管理するのであれば、広まってしまう可能性があると思います。

耕心会： タオルを収納するものは牛乳パックに仕切りをつけたものを使用しており、そこにタオルを入れていくので、接触する可能性は低いと思います。ノロウイルス、ロタウイルスが流行った時には、おっしゃっていただいたように次亜塩素酸ナトリウムのスプレーを使って、もう少しレベルの高い消毒を行います。普通の胃腸風邪や何も起きていない時にお尻敷きタオルを使用します。

保護者： 4月になると親しみのある先生たちがいなくなって、新しい先生になってしまうので、園児たちは不安だと思います。2月もしくは3月にバトンタッチの会を開催する時に西山田保育園として園児たちにどのように説明をするのかを具体的にお聞きしたいです。そのうえで、家庭ではどのように伝えていけばいいのか、どうサポートすればいいのかを考えていきたいと思います。

吹田市： 耕心会と西山田保育園の職員でバトンタッチの会（園主催）をやる予定で、具体的な内容は今後話し合っていきます。保護者の皆さんの御意見等をお聞きして、配慮しながら園児たちの不安のないようにやっていきたいと思います。

保護者： 藤白台保育園ではバトンタッチの会をどのようにされていたのかをお聞きしたいです。

吹田市： バトンタッチの会は本当に悩むところでした。どうやって園児たちに話そうかをずっと考えていて、12月にはまだ決まっておらず、先に民営化していた南保育園や、同じ年に民営化した吹田保育園にいろいろなことを聞きました。また、バトンタッチの会を実施した後に別日でありがとうの会をしました。

吹田市の保育士や看護師が耕心会の職員にバトンタッチするということを明るく行事として行いました。吹田市の職員がいなくなるということを理解できたの

は4歳児と5歳児くらいかもしれません。園児が家に帰宅してからのことを心配されていた保護者の方はたくさんいらっしゃいましたが、明るく伝えましたので、楽しい行事みたいな感じになったかもしれないです。吹田市の先生たちはいなくなるけども耕心会の先生は残ってくださるということは分かったと思います。より具体的にわかるのは4月に入ってからだと思います。

保護者の皆さんから園児にどのように説明していただくかというのは難しいと思いますが、不安のないように前向きに明るく伝えていただければ一番いいのかなと思います。藤白台保育園では保護者の方にお任せいただきました。

耕心会： 1月から各クラスの担任予定保育士や看護師、調理員が来ます。耕心会としてやらないといけないことは、その先生たちがどれだけ園児たちとコミュニケーションを取って関係を築き、変わるという負担を軽減できることが大切だと思います。そのために、西山田保育園の先生と一緒に協力をしていきたいと思っています。決まりましたら、また詳しく御報告させていただきますので、よろしく願います。

保護者： 先ほどのお尻敷きタオルについて、牛乳パックをどこの場所に置くのかを知りたいです。

あと提案された紙おむつ廃棄については民営化のメリットだと思います。しかし、私は子供を0歳児から通わせていて、最初はすごく量が多かった布おむつがだんだん減っていくのを見て、おまるで成功している、おむつを濡らさずにトイレに行けるようになったんだと子供の成長をすごく感じました。今後、おむつが手元に戻ってこなくなったら、自分の子がどんな感じなのか伝わりにくいのかなと思うので、今後どのように保護者に伝えていくのかを教えて欲しいです。

耕心会： お尻敷きタオルを入れる牛乳パックはトイレ内に置こうと思っています。まだ、入れ物を作っていないため、使い方などは今後考えていきたいと思っています。

おむつに関しては、担任から保護者にトイレの成功が増えてきたことなどを口頭でしっかり伝えて、一緒に確認していけたらと考えています。

保護者： 4月から耕心会で藤白台保育園を運営されていると思います。今うまくいっている点と課題だったところや、うまくいっていないところとそれを西山田保育園

にどう生かしていくのか、引継ぎをどう考えているのかを聞かせていただきたいです。

あと個人的には紙おむつを持ち帰らなくていいことはありがたいと思います。

耕心会： 藤白台保育園では、担任と園児との信頼関係がすくついてきたので、保育やクラス運営に関してはうまくいっていると思います。4月に入って間もない頃は、藤白台保育園にいた正職員が変わったため、中には環境の変化に敏感な園児たちは戸惑う姿がありました。

また、パートの先生の配置を大幅に変えてしまったことで、朝の受け入れの時に園児や保護者の方に混乱を招いてしまいました。パートの先生はたくさん残っていただきましたが、それぞれの勤務条件を重視してシフトを組んでしまったため、保護者の方から朝の受け入れの時に顔見知りの先生にいてほしいという声がありました。年度途中で配置をもとのように変えたことにより、スムーズにいくようになりました。

藤白台保育園は園児の数が多く142人の子供たちをお預かりしていますので、それに応じてたくさんの職員がいて、伝達等に少し課題を抱えています。保護者に対する伝達に漏れがあったので、改善をしています。また、職員間の連携を高めています。4月から採用する職員もいる中で、お互いに相手のこともわからない状態で最初のうちは職員間の連携不足を感じているところもありましたが、会議や職員同士の親睦会を行うことで、少しずつ関係がついてきて、現在は、クラス内の連携や保育もうまくいっていると思います。今の藤白台保育園の課題はクラス間の連携をさらに高めることだと思います。

基本的に公立の行事を引き継いでいますが、行事の数が多く4月から入った職員は見えていないので、資料や引継ぎ職員から説明をして伝えております。それでも大変な思いをしております。百聞は一見に如かずということで、行事を見ただけでもイメージがつくので大きく違います。そういった意味では西山田保育園でもいろいろな行事を合同保育の職員以外も見させてもらっていますので、非常にプラスになると思っています。一度見ることでイメージがついて、来年度に自分たちが行う時に動きやすくなるということがありますので、今後に生かされると思います。

耕心会： 藤白台保育園の場合、運動会などの行事を積み重ねていくことで職員間の連携

がとれてきていると思います。一方で課題として、経験のある先生をたくさん採用することを努力しております。あとは職員の配置です。藤白台保育園の場合は、朝と夕に勤務していたパートの先生を片方に固めてしまったということがあったので、西山田保育園の場合は、今の固定シフトでお願いをして、登園と降園の時間に知っている先生がいるように努力をしていきます。

あと藤白台保育園の経験をどう生かすかということは、西山田保育園の合同保育の職員やこれから働く職員にも伝えていきます。何か起こったことをA先生がB先生に、B先生がC先生に伝えたいと、C先生から保護者に伝えるという状況はたくさんあります。その中で最初の情報と最後の情報が誤って伝わってしまうということがあります。そこは引継ぎのノートにどういう人たちが関わって、どのような報告をしないといけないかという書き方を改善していく必要があると思います。そういったことを西山田保育園に行く職員へ伝え、それを生かしていくという形で進めていきます。

保護者： 今のお話で不安は解消しました。参考資料を読ませていただいて、パート・アルバイトの先生が現在18人残ってくださることと、採用の人数を予定どおり進めていただいていることに安心しています。

下の子が別の園に通っていて、紙おむつの回収は費用が掛かっていますが、西山田保育園で紙おむつを処分するとなると費用負担はどうなりますか。

上の子が来年5歳児クラスになります。先ほどお話をいただいたように耕心会の合同保育の先生3名が保育や運動会などの行事を1年間取組みから見ていただいているので、どなたかが来年の5歳児クラスを持ってくださると安心できると思います。

耕心会： 紙おむつの処分費用は園の負担で考えています。

おっしゃっていたことについては3人としっかり話をし、責任を持って引継ぎしていきたいと思っております。

保護者： 今の西山田保育園の先生方は経験豊富で、親としては安心感や信頼感がすごくあります。今後、決まっていないポジションの先生を採用するにあたって、職員の経験年数も考えていただいて頑張っていたらなと思います。

吹田市には、耕心会の先生方が頑張っていたらなような財政面のバックアッ

ブや、吹田市全体で子供たちを育てていくための支援を一生懸命行っていただけたらと思います。保護者からは施設の改修や設備、備品などの要望を出してお願いしていきたいと思いますが、普段の様子ではわからないところがあります。そのため、耕心会の合同保育の先生方や西山田保育園に勤務している先生方の要望をできるだけ聞いていただき、修繕等を進めていただければと思います。来年度の子供たちにかかる保育の費用が削られて施設の整備や備品の購入に充てられることのないようにお願いします。

吹田市： 今年度改修工事をしておりますが、もともとは民営化後に実施する予定でした。耕心会の要望や西山田保育園の施設の一部分が老朽化しているというところがあって、協議して前倒しております。来年度にお渡しするということもありますので、耕心会の要望も聞いたうえで、予算に限りがありますが実施していきます。

わかりにくい部分で修繕などが必要なところについては、公立保育所では3年に一度実施する定期点検を実施していて、西山田保育園は今年度で業者に確認してもらいます。改善が必要な箇所については、昨年度、吹田保育園や藤白台保育園でも行いましたが、予算の許す範囲で修繕などをして、耕心会にお渡ししたいと思います。

あと私立保育所には小規模改修補修という最大500万円かかった改修工事に対して半分の250万円までの助成金を渡すという制度があります。それを御利用いただけるように協議させていただければと思います。

保護者： 延長保育料のかかる時間帯に子供を迎えに行った時に、耕心会の先生がいらっしゃって驚きました。耕心会の先生から私の子供の様子を聞いたのが嬉しかったです。運動会や夏祭りなどの行事に園長先生になられる方や耕心会の職員の方をよくお見かけして、すごく参加されているなと感じておりました。

上の子は最初の3年間を民営化した私立保育所、次の2年間を無認可保育施設、最後の1年間を西山田保育園で過ごしており、すべて経験しております。是非こうしてほしいということなどがあれば、何でも遠慮なく言って欲しいです。私たちも園を良くするため、子供のためには努力を惜しまないです。運動会でもお手伝いをしていますし、西山田保育園をよりよいものにしていきたいと思いますので、平等に話し合える立場になっていきたいなと思っております。

耕心会： ありがとうございます。何かあればいつでも言っていただき、一緒に園を盛り上げていただければと思います。いろいろな問題が出てくるかもしれませんが、その時には一緒に話し合っ解決していければと思います。子供たちの環境を大人たちがどれだけ整えていけるかだと思っていますので、協力していただけるのはありがたいです。

保護者： お聞きしたいことが2つあります。1点目は卒業記念の木製パズルについてです。今までに子供が電動のこぎりを使って、ケガなどをしたことはありませんか。また、作業するにあたって、子供たちにも説明をすると思いますが、保護者に詳しくねらいや保育の内容などを教えて欲しいです。

2点目は駐車場のことについてです。これまで近隣で駐車場を確保して欲しいと言っておりました。現在、近隣の駐車場を有料で使わせていただいています。園児の送り迎えで使う中で、敷地内で駐車場が空いていない時に車が止まっているとすぐに園に連絡がきます。そのため、そういったことを考慮していただいて駐車場を借りていただければと思います。近隣の方とは長い付き合いになりますので、運動会の行事などに影響しないように借りていただくことが大前提かなと思っています。以前の三者懇談会の時に、耕心会から駐車場は用意しますので保護者会で管理してもらえませんかという提案がありましたが、近隣の方が何かを連絡する時は、園が窓口になると思います。また、保護者は流動的に変わりますし、保護者会の役員は毎年変わるので、保護者会で管理は難しいということを前提で考えていただければと思います。

耕心会： 電動系のこぎりの使用については、確かに危険が伴いますが、使用する時には必ず後ろから手を添える職員と、何かあればスイッチを切れる職員がいます。切り方は基本的にはまっすぐ切ります。木材の会社に勤める法人の理事が事前に来て、木についての扱い方や電動系のこぎりの使い方などを園児に説明します。5歳児はある程度理解ができていると思います。事前に話したうえで使っているので今のところ事故はありません。木を身近に感じ、木を通して心を育むといった木育活動のねらいを御理解いただいたうえで、行っていければいいと思っています。

お隣の駐車場の管理会社は管理をしているだけで、利用については自治会で対

応しておられます。自治会と御相談した結果、通園の際に事故や何かあった場合に困るとおっしゃっていました。私も西山田保育園に来た時に駐車場が満車だった様子を見ました。空いているスペースに待機して、停めている車が出ていくのを待っていた方がいましたが、すぐに自治会の方が来られて声を掛けられ、待っていた車が出て行く光景を見ましたので、管理・運営するのは難しいと実感しました。

御参考までに吹田くすのきこども園の駐車場の管理については、現在5家庭が利用されております。借りている駐車場は2台分で、使い方は平均15分刻みで御利用いただいております。8時から8時15分までは保護者A、8時15分から8時30分までは保護者Bというような形で割り振って、朝夕の組み合わせで使っていただいておりますが、今のところ苦情やバッティングしたということもありません。先ほどのお話をお聞きして、また現状も拝見しましたので駐車場を園で確保して運営していくことは難しいと思います。事情を踏まえたうえで検討していきたいと思います。

保護者： 藤白台保育園では現在、公立保育所と同じ栄養価と質で給食を提供していると伺いましたが、子供たちの様子や保護者の方から何かコメントをいただいたことはありましたか。

耕心会： 藤白台保育園では1月から合同保育で給食の職員が引継ぎをしておりました。調理器具の組み合わせ等もあるので、ほぼ公立時のメニューをそのまま使用して、給食を作っており、引継ぎ職員も毎日食べておりました。事務室前に展示食で置いていますが、保護者の方からも給食について御要望をいただいたことは今のところありません。

吹田市： 子供たちはよく食べています。耕心会の栄養士が同じようなメニューにしつつも、いろいろな工夫をされているのでそこは大丈夫かなと思います。

保護者： 来年度の園長予定の先生に質問です。いろいろなところで活動をされていると思いますが、来年度以降はどうされるのですか。

耕心会： 大学は辞めて、西山田保育園に毎日来て、園長を専任でやります。他の活動に

については、園長業務に支障がない程度でします。

保護者： 3年に一度点検しているということですが、民営化した後はどうなりますか。  
また、移管後に第三者からの監査は入りますか。

保護者会から耕心会へ要望を出して、どうしても解決が難しい場合には、吹田市として相談に対応してもらえるのか教えて欲しいです。

吹田市： 3年毎に実施する点検は私立になってからはありません。公立の場合は点検を義務づけられていますが、私立の場合は特段の定めはありません。

監査については、毎年、吹田市の福祉監査指導室から保育所にお伺いさせていただいております。その監査で保育所の運営面などを確認しております。それとは別に、移管後に福祉サービス第三者評価の受審を義務付けしております。それを耕心会に実施していただき、移管後の西山田保育園の保育内容を確認いただきます。

すでに民営化しております3園では、事業者の方が民営化された園であることを踏まえて、保護者の方々とよい関係を作って丁寧に運営をされております。うまくいかなかった時は、移管後5年間は三者懇談会を開くことができますので、その場で協議していきたいと思っております。

## 6 閉会

吹田市： 本日は終了時刻を過ぎておりますので、これで三者懇談会を終了いたします。  
次回の開催につきましては、耕心会や保護者会長と調整させていただきます。

本日は遅い時間まで御参加いただき、ありがとうございました。